

教職

↑

教員養成

**教師としての専門性 (Continuing Professional Development:CPD)**  
 (学校教育における事象を、「教職基盤」との関わりの中で捉え、多様な他者と関わりながら、省察的実践を展開し、自らを高め続ける)

**【問いを持ち課題を設定する力】 【探究し実践する力】 【省察し改善する力】**

経験からの学び方を学ぶ  省察的な学びのサイクル 関わりを通して認識や経験の幅を広げる 自己の傾向性を知り、認識を問い直す	<b>A. 教師等としての基本的素養</b> 01- 豊かな人間性、教養、人権意識 02- 教職の意義と関係法規、幼稚園教育要領等、教育改革の動向等の組織マネジメントと働き方 03- 幼児教育施設	◎ ☆ ◇ ◎ ☆ ◇ ◎ ☆ ◇	仲間 (学生コミュニティ) 大学教職員 附属学校園教員 地域・社会 etc				
	<b>B. 多様な関わりを構築し活かす力</b> 04- 連携・協働、コミュニケーション、ファシリテーション	◎ ☆ ◇					
	<b>C. 子供を理解する力</b> 05- 子供の発達と学び	◎ ☆ ◇					
	<b>D. 特別な配慮や支援を必要とする子供に対応する力</b> 06- ダイバーシティとインクルージョンの教育	◎ ☆ ◇					
	<b>E. 領域をもとに保育を展開する力</b> 07- 子供中心の発達観・保育観 08- 保育内容の専門性と教材研究 09- 保育計画・実践・評価・改善 10- カリキュラムの開発・実施・評価 11- STEAM教育	◎ ☆ ◇ ◎ ☆ ◇ ◎ ☆ ◇ ◎ ☆ ◇ ◎ ☆ ◇					
	<b>F. ICTや情報・教育データを利活用する力</b> 12- ICTの利活用 13- 情報教育 14- 教育データの活用	◎ ☆ ◇ ◎ ☆ ◇ ◎ ☆ ◇					
	<b>G. 学級経営・子供の自立を促す力</b> 15- 子供の自立を促す支援と援助 16- 学級経営、特別活動 17- 子育て支援 18- キャリア教育 19- 防災教育、安全教育	◎ ☆ ◇ ◎ ☆ ◇ ◎ ☆ ◇ ◎ ☆ ◇ ◎ ☆ ◇					
	常に働かせる	場面や状況に応じて働かせる		(講義・演習科目)	(探究科目)	(実地教育)	多様な学びの場と関わり
	<b>省察的実践の起点となる「教職基盤」</b>			概念やスキル、思考・判断・表現力等を獲得する学び <small>◎: 必修及び選択科目として学修</small>	課題を設定し、探究する学び <small>☆: 探究科目において興味関心に応じて選択的に学修</small>	実体験を通して省察的実践に取り組む学び <small>◇: 実地教育において必ず実体験を通して学修</small> <small>△: 実地教育の状況により実体験を通して学修</small>	
	学修事項			学修機会		学びのコミュニティ	

教師としての潜在的な資質能力 :Growth Potential

## カリキュラムマップ（幼稚園版）

カリキュラムマップは、「教職基盤」と授業科目との対応関係を表しています。授業科目の中には、一つの科目の中に複数のねらいが含まれている場合がありますが、その主たるねらいに基づいて原則として一つの「教職基盤」に割り当てられています。

赤字: 必修科目、選択必修科目  
青字: 選択科目

### 縦軸となる「教職基盤」

「教職基盤」の領域	「教職基盤」の名称	「教職基盤」の概念	キーワード	対応する授業科目
A. 教師等としての基本的素養	01- 豊かな人間性、教養、人権意識	豊かな人間性や社会性、広く豊かな教養、子供に対する人権の尊重をもって子供に教育したり、かかわったりする力	豊かな人間性や社会性 / 豊かな教養 / 人権の尊重	教養科目群 (別表1)
	02- 教職の意義と関係法規、幼稚園教育要領等、教育改革の動向等	教育者としての使命感、子供に対する教育的愛情や責任感を基盤に教育理念及び教育の歴史と思想、教職の意義及び教員の職務内容と役割、教育の社会的・制度的・経営的事項、教育方法・内容、幼稚園教育要領等について理解し、教育改革に対応する力	教職に対する使命感 / 子供に対する教育的愛情や責任感 教育理念及び教育の歴史と思想 教職の意義及び教員の職務内容と役割 教育の社会的・制度的・経営的事項 / 教育方法・内容 幼稚園教育要領等	教育基礎論I 教育基礎論II 教育史I 教育史II 教育社会学I 教育社会学II 教育制度論I 教育制度論II 教職原論I 教職原論II 教育方法論I 教育方法論II 子どもと保育
	03- 幼児教育施設の組織マネジメントと働き方	幼児教育施設の組織的な教育活動について理解し、組織における自己の役割を分析・理解し、主体的・積極的に諸活動に参画する力、及び施設内外の各種資源について理解し、その効率的な活用を通じて教育活動の持続的な改善を行う力	幼児教育施設の組織に関する理解 教員等の仕事に関する理解 施設内外での協働的な問題解決	子どもの安全と学校組織 教師の連携・協働と学校経営 保育者論
B. 多様な関わりを構築し活かす力	04- 連携・協働、コミュニケーション、ファシリテーション	子供との対話、教員間および関係者との協働を促進するコミュニケーション力	連携・協働 / ファシリテーション コンサルテーション / プレゼンテーション	教師の連携・協働と学校経営 (再掲) 多機関連携と学校防災 校種間連携教育論 社会的養護 部活動の指導と運営
C. 子供を理解する力	05- 子供の発達と学び	各発達段階における心身の発達の過程ならびにその特徴を理解し、子供の学びを支える教育活動を展開していくのに必要な力	乳児期から青年期までの心理と発達の特徴 発達障害	発達心理学I 発達心理学II 教育心理学I 教育心理学II 保育の心理学
D. 特別な配慮や支援を必要とする子供に対応する力	06- ダイバーシティとインクルージョンの教育	子供の多様性を認める素養をもとにした、インクルーシブ教育を展開する力	ダイバーシティ / ソーシャル・インクルージョン インクルーシブ教育 / アンコンシャス・バイアス 合理的配慮 / QOLの向上	インクルーシブ教育基礎論 インクルーシブ教育実践論 特別支援教育概説 障害児保育論 子ども家庭福祉 外国人児童生徒のための日本語教育 外国人児童生徒のための日本語教育 (演習)

### 横軸となる「教職基盤」

「教職基盤」の領域	「教職基盤」の名称	「教職基盤」の概念	キーワード	対応する授業科目
E. 領域をもとに保育を展開する力	07- 子供中心の発達観・保育観	幼児教育において、子供中心の発達観・保育観に基づき、一人一人の可能性を引き出すと共に、小学校以降の新たな学習・授業を視野に入れて環境を構成しデザインする力	環境を通しての教育・保育 / アクティブ・ラーニング ファシリテーターとして果たすべき教員等の役割 転換された学習・学習者観に依拠した新しい評価のかたち	幼児理解論 学習科学と授業のリデザイン ラーニング・ファシリテーションの理論と実践
	08- 保育内容の専門性と教材研究	保育内容についての専門的な知識や技能を身につけ、領域に応じた見方・考え方を踏まえて、教材を研究、解釈、開発することを通して、保育を具体的に構想する力	領域の見方・考え方 / 教材研究 教材開発 / 保育の構想力	幼児教育 / 領域及び保育内容の指導法に関する科目 (別表3) 保育内容開発論 初等教科内容科目 (別表2) 中等各教科教育 / 内容科目 (別表4) 初級ピアノ実技
	09- 保育計画・実践・評価・改善	子供中心の保育を行うための具体的なプロセスについて理解したうえで、それを用いて保育を計画・実践する力。また実践された保育を子供中心という観点から分析・評価し、改善する力	保育計画 学びの評価 保育研究 主体的・対話的で深い学び 個別最適な学び、協働的な学び	幼児教育 / 領域及び保育内容の指導法に関する科目 (別表3) 幼児教育課程・保育計画論 初等教科指導法科目 (別表2) 中等各教科教育 / 指導法科目 (別表4) 道徳教育論 総合的な学習の時間の理論と実践 初等教科授業デザイン科目 (別表2)
	10- カリキュラムの開発・実施・評価	教育課程を含む全体的な計画の基本原則、幼児教育施設や子供の現状、幼稚園教育要領等を踏まえて、適切な課程・計画を開発し、実施する力、子供の生活と学びを踏まえてカリキュラムを分析する力、カリキュラム・マネジメントを視点としながら計画・課程を評価し、改善する力	幼稚園教育要領等 / 全体的な計画 社会に開かれた教育課程 カリキュラム・マネジメント	幼児教育課程・保育計画論 (再掲) 教育課程論
	11- STEAM 教育	教科等横断・文理融合的なプロジェクト型の学習である STEAM 教育の考え方を踏まえて、保育を構想し総合的に指導する力	遊びを通しての総合的な指導 / 教科横断・文理融合 ティンクリング / ファシリテーション / 地域や企業との協力・協働	STEAM 教育概論 STEAM 教育演習

「教職基盤」の領域	「教職基盤」の名称	「教職基盤」の概念	キーワード	対応する授業科目
F. ICT や情報・教育データを利活用する力	12- ICT の利活用	デジタル環境を活用した指導や学級経営等を展開する力、業務支援システム等を活用した業務や運営の情報化を推進する力	保育における ICT 活用 学級経営等における ICT 活用 業務の情報化	教育情報化概論 デジタル学習環境と情報活用
	13- 情報教育	学習基盤としての情報活用能力の基礎となるよう、子供の直接体験を補完する形で ICT を活用し保育を展開するとともに、保護者に向けた情報モラル・セキュリティに関する啓発活動を行う力	学習基盤としての情報活用能力の育成に向けた取組 ・直接体験を補完する ICT の活用 ・情報を活用した試行錯誤や探究活動 ・情報機器を利用した表現活動 ・保護者に向けた情報モラル・セキュリティ啓発活動	教育情報化概論 (再掲) 小学校プログラミング教育教材論 情報モラル・セキュリティ教育論
	14- 教育データの活用	エビデンスに基づき教育を改善するために、教育データを適正に活用する力	教育データの収集、可視化、分析 校務の情報化	教育データサイエンス 教育・心理研究法
G. 学級経営・子供の自立を促す力	15- 子供の自立を促す支援と援助	子供一人一人が主体的に自己実現していく過程を支援するとともに、家庭や社会の中でその一員としての自己を成長させていくための教育・保育活動を展開する力	子供理解 / 基本的な生活習慣の形成 生活の自立、学びの自立、精神的自立 養護と教育の一体性 組織における協働的支援体制 幼児教育施設と家庭・地域・関係機関との連携	子どもの保健 乳児保育 子ども食と栄養 生徒指導論
	16- 学級経営、特別活動	子供理解のもと、子供との信頼関係を構築すると共に、一人一人が安心でき、自己存在感や充実感を感じられる場所や主体的に取り組む共同的な活動を設定、実践する力	学級内の人間関係 個と集団 特別活動の意義、目標及び内容	特別活動論I 特別活動論II
	17- 子育て支援	子供を取り巻く様々な問題に対して、個々の立場に寄り添い支援・解決できることに加え、一人一人にきめ細かく対応するために、家庭と連携した支援体制の構築や専門家を含めた関係機関と連携する力	子育て支援 子育て相談と個別支援の方法 スクールカウンセリングと心理療法	子育て支援 子ども家庭支援の心理学 教育相談論I 教育相談論II 学校精神保健学 学校・臨床心理学
	18- キャリア教育	子供が、集団生活の中で自己を発揮し、自信を持って行動できるように指導すると共に、地域の身近な人々との交流を通して、人の役に立つ喜びを味わうことができるよう活動を計画する力	集団の中での自己発揮と人と関わる力 地域の人々の交流	キャリア教育論
	19- 防災教育、安全教育	安全・安心な教育環境に関する幅広い理解、幼児教育施設内外での連携関係を活用した組織的な危機管理についての理解に基づき、それを実践する力	安全・安心な教育環境 地域連携・多機関連携による防災教育	子どもの健康と安全 子どもの安全と学校組織 (再掲) 多機関連携と学校防災 (再掲)

### 学び続ける教師の力の育成に関わる科目 (全ての「教職基盤」に関わる)

上記全科目に加え下記科目で「教職基盤」を働かせ、省察し改善する力、探究し実践する力、問いを持ち課題を設定する力を育む

「自己の傾向性を知り、認識を問直す」学び	教職キャリア発達科目	教職実践演習 教師力養成特別演習 小学校授業づくり入門 教職基盤探究
「関わりを通して認識や経験の幅を広げる」学び	実地教育科目	学校観察実習 (実地教育I) フレンドシップ実習 (実地教育II) 初等基礎実習 (実地教育III) 中等基礎実習 (実地教育IV) 初等実習リフレクション (実地教育V) 中等実習リフレクション (実地教育VI) 学校教育応用実習 (実地教育VII)
「経験からの学び方を学ぶ」学び	保育実習科目	施設実習、保育所実習、保育実習 保育実習指導
	インターンシップ科目	学校インターンシップ実習
	卒業研究	

「教職基盤」には位置づけのない科目	学校図書館司書教諭資格取得に係る科目	学校経営と学校図書館 学校図書館メディアの構成 学習指導と学校図書館 読書と豊かな人間性 情報メディアの活用 学校図書館学I 学校図書館学II
-------------------	--------------------	---

## 別表1 教養科目群

アカデミックスキル科目
クラスセミナーI
クラスセミナーII
情報処理基礎演習
AI・データサイエンス基礎

社会課題探究科目
暮らしのなかの憲法
同和教育と人権教育
社会の中の言語文化
芸術と人間
環境問題と健康
文学と読解
社会認識のための地理情報
生涯学習と人間形成
人間関係とカウンセリング
兵庫の教育
社会ボランティア体験学習I
社会ボランティア体験学習II
障害者理解と支援(入門)

理数系基礎科目
数学基礎
自然科学入門
わくわくサイエンス実験
基礎理科実験

グローバルスタディーズ科目
グローバルスタディーズI
グローバルスタディーズII
海外教育体験実習

表現コミュニケーション科目
英語コミュニケーションI
英語コミュニケーションII
英語コミュニケーションIII
英語コミュニケーションIV
英語コミュニケーションV
英語コミュニケーションVI
英語コミュニケーションVII
アカデミック英語I
アカデミック英語II
アカデミック英語III
アカデミック英語IV
アカデミック英語V
ドイツ語コミュニケーションI
ドイツ語コミュニケーションII
フランス語コミュニケーションI
フランス語コミュニケーションII
中国語コミュニケーションI
中国語コミュニケーションII
韓国語コミュニケーションI
韓国語コミュニケーションII
体育I
体育II

## 別表2 初等教科内容科目／初等教科・領域教育法科目

初等教科内容科目
初等国語
初等社会
初等算数
初等理科
初等生活
初等音楽
初等図画工作
初等体育
初等家庭
初等英語

初等教科指導法科目
初等国語科教育法
初等社会科教育法
初等算数科教育法
初等理科教育法
初等生活科教育法
初等音楽科教育法
初等図画工作科教育法
初等体育科教育法
初等家庭科教育法
初等英語科教育法

初等教科授業デザイン科目
初等国語科授業デザイン
初等社会科授業デザイン
初等算数科授業デザイン
初等理科授業デザイン
初等生活科授業デザイン
初等音楽科授業デザイン
初等図画工作科授業デザイン
初等体育科授業デザイン
初等家庭科授業デザイン
初等英語科授業デザイン

## 別表3 幼児教育／領域及び保育内容の指導法に関する科目

領域及び保育内容の指導法に関する科目
幼児と健康
幼児と人間関係
幼児と環境
幼児と言葉
幼児と表現
幼児教育指導総論
保育内容健康論
保育内容人間関係論
保育内容環境論
保育内容言葉論
保育内容表現論

**別表4 中等各教科教育 / 内容科目 / 指導法科目**  
(教科教育系グループ科目(中学校、高等学校))

国語グループ科目	
教科内容科目	国語学I
	国語学II(音声言語及び文章表現を含む。)
	国語学演習I
	国語学演習II
	国文学I
	国文学II(国文学史を含む。)
	古典文学演習
	近代文学演習
	児童文学論
	児童文学演習
	漢文学
	漢文学演習
	書写・書道
	教科指導法科目
国語科教育法II	
国語科教育法III	
国語科教育法IV	
国語科授業研究	

英語グループ科目		
教科内容科目	英語学概論	
	英語学基礎論	
	英語学特論	
	英語文学概論	
	英語文学特論	
	英語文学研究	
	オーラルコミュニケーションI	
	オーラルコミュニケーションII	
	ライティング	
	異文化理解I	
	異文化理解II	
	教科指導法科目	英語科教育法I
		英語科教育法II
		英語科教育法III
英語科教育法IV		
英語科授業研究		

社会グループ科目	
教科内容科目	日本史概説
	日本史特講
	日本史演習I
	日本史演習II
	外国史概説
	外国史特講
	外国史演習I
	外国史演習II
	人文地理学概説
	地理学特論演習I
	自然地理学概説
	地理学特論演習II
	地誌学概説
	法律学概説(国際法を含む。)
	政治学概説(国際政治を含む。)
	法律学演習
	政治学演習
	経済学概説(国際経済を含む。)
	社会学概説
	経済学演習
	社会学演習
	倫理学概説・演習
	哲学概説
	哲学演習
教科指導法科目	社会科教育法I
	社会科教育法II
	社会科教育法III
	社会科教育法IV
	地理歴史科教育法I
	地理歴史科教育法II
公民科教育法I	
公民科教育法II	
社会科授業研究	

数学グループ科目		
教科内容科目	代数学I	
	代数学II	
	代数学III	
	幾何学I	
	幾何学II	
	幾何学II演習	
	解析学I	
	解析学I演習	
	解析学II	
	確率・統計	
	コンピュータ数学概論	
	教科指導法科目	数学科教育法
		数学科教育法演習
		数学科教育法特別演習I
数学科教育法特別演習II		
数学科授業研究		
数学特別演習		

理科グループ科目		
教科内容科目	物理学I	
	物理学II	
	物理学実験	
	化学I	
	化学II	
	化学実験	
	生物学I	
	生物学II	
	生物学実験	
	地学I	
	地学II	
	地学実験	
	教科指導法科目	理科教育法I
		理科教育法II
理科教育法III		
理科教育法IV		
理科授業研究		
地質学野外研究		

音楽グループ科目		
教科内容科目	ソルフェージュ	
	声楽演習I	
	声楽演習II	
	合唱演習	
	ピアノ演習I(伴奏を含む。)	
	ピアノ演習II	
	器楽演習I	
	器楽演習II	
	合奏演習	
	指揮法演習	
	音楽理論と音楽史の基礎(作曲法を含む。)	
	作曲演習	
	教科指導法科目	音楽科教育法I
		音楽科教育法II
音楽科教育法III		
音楽科教育法IV		
音楽科授業研究		

美術グループ科目	
教科内容科目	絵画教育論
	絵画演習
	絵画実技
	版画
	彫刻教育論
	彫刻演習
	彫刻実技
	構成教育論
	デザイン実技
	工芸教育論
	工芸実技
	美術史学
	美術史学演習
	芸術学
教科指導法科目	美術科教育法I
	美術科教育法II
	美術科教育法III
	美術科教育法IV
美術科授業研究	

保健体育グループ科目		
教科内容科目	基礎体育実技I(陸上競技、体操・器械運動)	
	基礎体育実技II(水泳、ダンス)	
	基礎体育実技III(球技①)	
	基礎体育実技IV(武道)	
	基礎体育実技V(野外活動)	
	応用体育実技I(陸上競技、体操・器械運動)	
	応用体育実技II(水泳、ダンス)	
	応用体育実技III(球技②)	
	体育・スポーツ文化論I	
	体育・スポーツ文化論II	
	体育心理学	
	体育経営・管理	
	バイオメカニクス	
	生理学・運動生理学	
	生理学・運動生理学実験	
	衛生学・公衆衛生学	
	学校保健I	
	学校保健II	
	学校保健III(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	
	教科指導法科目	保健体育科教育法I
		保健体育科教育法II
		保健体育科教育法III
		保健体育科教育法IV
	保健体育科授業研究	

技術グループ科目	
教科内容科目	材料加工I(実習を含む。)
	材料加工II(実習を含む。)
	機械工学(実習を含む。)
	電気工学(実習を含む。)
	電子工学(実習を含む。)
	生物育成
	情報基礎I
	情報基礎II
	情報応用I
	情報応用II
教科指導法科目	技術科教育法I
	技術科教育法II
	技術科教育法III
	技術科教育法IV
技術科授業研究	

家庭グループ科目		
教科内容科目	生活経営学・福祉(家庭経済学を含む。)	
	家族関係学	
	社会福祉学演習	
	被服学I	
	被服学II	
	被服構成学実習	
	食物学I(食品学及び栄養学を含む。)	
	食物学II	
	調理学実習	
	住居学	
	保育学	
	保育学演習	
	教科指導法科目	家庭科教育法I
		家庭科教育法II
家庭科教育法III		
家庭科教育法IV		
家庭科授業研究		